

TF36H2C3-90236

第2号様式(表面) (別添4の4.1.関係)

令和 年 月 日 号

東邦車輛株式会社 殿

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

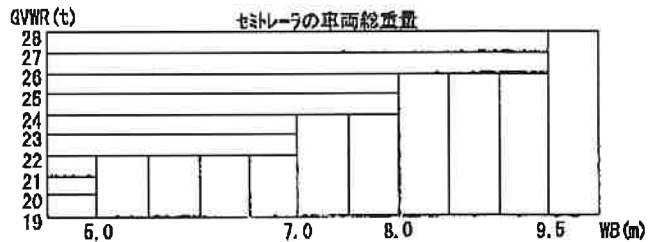
[指示事項]

主要諸元比較表

標準車の類別等を記載する。(0772)

項目		標準車	改造車	基準・限度	項目		標準車	改造車	基準・限度
車名	東邦	←			乗車定員	人	-	-	
型式	TF36H2C3	TF36H2C3改			最大積載量	kg	29000	26100	
自動車の種別	普通	←			車両重量 kg	前前軸重	10540	9075	- (16960kg)
用途	貨物	←				後前軸重	8480	8975	≤10t (11360kg)
車体の形状	セミトレーラ	ダンプセミトレーラ				後中軸重	8485	8970	≤10t (11355kg)
燃料の種類	-	-				後後軸重	8485	8970	≤10t (11355kg)
原動機型式	-	-				計	35000	←	≤36t (45760kg)
総排気量(L)又は定格出力(kW)	-	-			最大安定傾斜角度°	右	50	* 43(計算値)	一般 ≥35° その他 ≥30°
長さ m	12.145 (11.600)	9.440 (8.800)	≤13m			左	50	* 43(計算値)	
幅 m	2.490	←	≤2.5m		タイヤサイズ	前前軸	-	-	-
高さ m	2.260	3.500	≤3.8m			後前軸	11R22.5 -14PR	←	(10000kg)
軸距 m	6.910+1.300 +1.300 =9.510	4.580+1.360 +1.360 =7.300				後中軸	11R22.5 -14PR	←	(10000kg)
	前前輪	-	-			後後軸	11R22.5 -14PR	←	(10000kg)
輪距 m	後前輪 1.850 後中輪 1.850 後後輪 1.850	←			前輪荷重割合%	空車 - 積車 -	-	-	≥18, ~20%
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m	12.000	8.500		リヤ・オーバーハング m	2.090	1.305		≤1/2 (3.850m)
	幅 m	2.460	2.200		荷台オフセット m	2.610	1.590		
	高さ m	-	0.900		最小回転半径 m	-	* 8.2		≤12m
車両重量 kg	前前軸重	1320	2090						
	後前軸重	1890	2600						
	後中軸重	1890	2600						
	後後軸重	1890	2600						
計	6990	9890							

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	- kg ≤ 18t	- kg ≤ 20t	17945 kg ≤ 19t

能力強度等検討

制動能力	踏力 - N 60 km/h	4.60 m/s ²	車軸強度	X
	空気圧	650kpa	操縦装置強度	-
通過軸強度	回転数	-	緩衝装置強度	X
	強度	-	制動装置強度	X
車枠強度	$\sigma_{\beta}/\sigma = 590 / (68.931 \times 2.5) = 3.42 \geq 1.6$		連結装置強度	X
	$\sigma_{\gamma}/\sigma = 420 / (68.931 \times 2.5) = 2.43 \geq 1.3$			

- 注1. 能力強度検討欄は、該当しないものは-、省略したものはXを記入すること。
- 注2. 指示事項欄又は能力強度検討欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
- 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付書類を提示すること。(9.(1)関係)
- 注4. *印は いすゞ 2DG-BX252CK型トラクタと連結時の計算値を示す。

BA027871

第2号様式(裏面) (別添4の4.1.関係)

改造等の概要

目的	東邦TF36H2C3型(2国自審第1794号新02125号、類別0772) セミトレーラを 分割可能な貨物の安全輸送をはかるため変更する。(あおり型 固縛を前提にしないもの)
車枠及び車体	・標準車の軸距間にあたる主フレームの後部を短縮する。
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1 該当する事項が無い場合については、斜線で記入すること

注2 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。
なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)
に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

改造等の概要補足説明

型式：東邦 TF36H2C3-90234～90238 型

車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none">・フロントオーバーハングを 0.100m 延長する。 0.400m → 0.500m・緩衝装置ブラケットを前方に 2.210m 移動することにより 最遠軸距を $6.910+1.300+1.300=9.510\text{m}$ → $4.580+1.360+1.360=7.300\text{m}$ に変更する。・フレーム長さを 3.355m 短縮 (12.000m → 8.645m) することにより、 リヤオーバーハングを 2.090m → 1.305m に変更する。・突入防止装置は「協定規則第58号第2改訂版25.の技術的な要件」を満たすもの を取り付け、JABIAプレートを取り付ける。
--------	---

東邦TF36H2C3改型
ダンプセミトレーラ外観四面図

